



## 渡議員

# 教育部門

## Q 教育行政に関すること

**A** 暴力行為減少に向け  
様々な対応を実施している（林教育長）

**A** 平成22年度の小学校における暴力行為は、児童数に対する発生割合が、県全体の半分程度。平成20年度から県全体で60%の増加に対し、熊野町では変化がない。小学校は比較的落ちついていると考えられる。

一方、中学校では、生徒数に対する発生割合が県全体と大差がない。平成20年度からの変化では、県全体で約20%の増加に対し、熊野町も同様に増加している。

これを受けて、現在、生徒指導担当教員の充実や生徒指導規定の策定、生徒指導のかかわる保護者との連携など、対応を実施している。

**Q** 学校内外で年々15%以上の事件、事故が増加しているという放送を観た。熊野町の学校では、どのような現況か。

## Q 学力向上を目指し 学校支援員の延長を

**A** 来年度以降も事業を  
継続したいと考えている（林教育長）

**A** 平成22年度から県の補助金を活用して、授業の支援などを行う学校支援員を配置している。この学校支援員は、学校個々の事情にあわせ、学習に集中しにくい児童・生徒への支援や、学力向上を目指した学習支援、生徒指導支援を行っている。

学校支援員配置後、今年度の県の調査結果を見ても、顕著な効果が上がっている。雇用の期限は来年3月までだが、来年度以降も事業を継続したいと考えている。

**Q** 先般実施された町・県のテストでは、学力が大幅に向上していることが証明された。支援が必要な児童・生徒をサポートする学校支援員を、引き続き延長することが必要と考えるがどうか。



## 佛圓議員



## 時光議員

## Q 雲母川(キララ川) 砂防堰堤事業

**A** 本年度から測量設計を行い  
工事は平成25年度からを予定（上馬場建設部長）

**A** 国土交通省の基準に合わせて、百年間で予想される最大雨量で設計している。広島県地方は時間当たり76ミリ。概算事業費は4億5千万円と伺っている。

**Q** どれだけの降水量に耐えられる設計基準か。また、概算事業費は。

**A** 県に問い合わせたところ、本年度測量設計を行い、次年度に地元事業説明の後、用地買収を行い、堰堤築造工事及び既設町道つけかえ工事を平成25年度からの3年間で行う予定。また、堰堤の詳細な規模等は、本年度の設計で、平成24年度当初には明確になるものと考えている。

**Q** 具体的な工期、規模等の詳しい計画を伺う。

## 荒瀧議員

## Q 深原地区町有地造成

**A** 各種申請の許可に基づき工事を行い  
安全を確保している（森本建設部次長）



▲深原地区の造成地（9月末現在）

**A** 重要事業の実施の際は、関連予算の議案提出前に、事業内容を説明の上、本会議で議決を得ている。

現時点で、保安林解除申請、砂防指定地内制限許可申請、開発申請に必要な図面等作成に調査費として約5千万円、事業に必要な用地費の取得に約5千万円、開発工事に関し約5億円。工事は県工事で、県が発注する。また、設計調査・用地買収・工事費の55%は国から補助がある。

保安林解除申請、砂防指定地制限内許可申請、開発申請の許可に基づき、砂防堰堤及び流路工を整備し、調整池を設けることにより安全を確保している。

**Q** 保安林開発工事の決議は。また、土地代金、工事内訳の説明を。町の総合ハザードマップでは危険区域だが、対応はどうか。